5 de Maio de 1922 No. 238

Noticias do Brazil

大正十一年五月五日　金曜日　第二百卅九號

伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 5695
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno ..... 15$000
,, Semestre ..... 8$000
, Mez ..... 1$500
,, Semana $500

商業的農業（上）

昔我國では士農工商と云つて、士を一等上の階級に置き、夫から農工商と順次待遇を下げて行つたものであるが、明治の時代に至つて四民平等となるや、此の階級制度も當然の結果として、社會の表面から其の姿を隱すに至つたのである、然しながら長い間の習慣は、制度の上から其の姿を隱しても、國民の思想からは容易に離れぬものと見へ、今も尙ほ官尊民卑の弊を持續すると同時に、商業を賤しむの形跡あるは否むべからざる事實である。

尤も商業は物品を安く仕入れて高く賣るものである所から、經濟學上の需要供給の度を超へ、壟斷同盟や買占を爲して、人爲的に不當利得を企て得るが爲め、商業は不正なものだと卑しまるゝ點がないでもないが官吏が賂賄を貪り、工業家が物品の粗製濫造を爲して毫も恥ざる所を見れば、豈獨り商業家を賤しむの理あらんやで、若し缺點あるの故を以て商業を不正とし、商業家を卑しむと云ふならば、世に是程矛盾したことがないと云はざるを得ないのである。

商業は勿論物品を安く仕入れて高く賣るものではあるが、其の高く賣ると云ふことには十分な理由があるので、唯徒らに暴利を貪らんとするものではない、即ち吾々の見て尊いとする農業家や、製造工業家の生產した物を甲から乙の地に轉じ、又は有り剩つた場所から不足の場所に移して需給の投合を圖ると共に、吾々の必要とする分量箇數を幾何程にても分賣りして呉れるものであるから物質文明の發達した業務繁劇の今日にあつては、商業も亦農工業と同じく尊い仕事の一つで、商業を目して輩賤なりと云ふは、蓋し物々交換時代の遺風か、又は金錢と時間とを輕視した、封建時代の誤まれる思想の殘骸と云はざるを得ない。

尙ほ詳しく云へば、士の尊い所以は國政を按排し、民心を善導して國家の發達を圖ると同樣、農業者も亦家の發達を計るのである。

同樣、農業者も亦地中や海中に埋沒せる天產物を採り集め、或は田畑を耕して穀物を收穫し、以て人類生活に必要なる物資を供給して國家社會の發達を計るのであるから、其の尊いこと前者に比して毫も劣る所はないが、斯くして取り集めた天產物や、收穫物も其の儘では未だ〳〵不便少ならずである。

から、茲に天產に人工を加へて種々便利な精製品若くは機械器具を拵へるは是れ工業の仕事で、吾々の生活向上に缺くべからざるものであると同時に、又大いに尊いものである。

然しながら斯くして出來上つた天產物や製造品が、遠隔の土地に有つたり、假令へ近くに有つても需要者の欲い時期に無かつたり、又欲い時期に有つても需要者の必要な分量だけを小分けにして賣つて呉れなかつたりしては、折角吾々が天產物や製造品から受くる利益、即ち農工業者の尊い仕事の分配も至つて僅少なものになるのであるから、是等の利益を完たからしむるには、右の距離と時期と、分量とを需要者の欲するが儘に充さしめねばならぬので、茲に商業の必要が生じ、其の尊とさが現はれて來るのである。

●日本は侵略國か非か（六）

◇故大隈侯爵發表の日本平和主義宣傳◇

れども、土地の利用法を考へたならば、まだ此種のものは幾らもあるべく、頗る利益もあれば興味もある事と信ずる。

農學が進み、土壤を選んでそれに好適した植物を栽培する事が完全に行はれたなら、それだけでも餘程收穫も增さうが、更に肥料の上にも研究を要し、改善の餘地が猶ほ澤山あると信ずる。勿論我國の今日の策としては未開墾地の開墾といふ事も大切であり、それに依つては相應の耕地を增すであらうが、概して新に開墾した地は舊い地面よりも地味が惡いに定まつて居り、勞力とそれに依りて得る收穫の利益とが相償はぬ樣な場合が無いとせぬ。是に於て肥料の研究の必要を一層痛切に感ずる。若し此方面の研究が發達して諸種の肥料が製出され、而して其智識が全國民に普及し、眞に土質と作物とに適合した肥料が施用されるならば必ず此方面からも、相應の增收を見るに至らうと信ずる。其他農具の改良も亦極めて必要であつて、之に因つて、成るべく勞力を節約し、農業の收益を增加させる事に心掛くべきである。何でも農業でも農政でも、凡てが一般の進歩に伴ひ、科學的に改善されて、成る可く經濟的に、少い生產費で多くの收穫を得る樣に勉めなくてはならぬが、それには自然に分業といふ事が大切になる。

四、農業の世界的分業

之を大きく考へれば世界的に分業が大切である。從來日本が長く鎖國を守つて居た頃迄は一切の生活の必需品は皆自給自足の方法に依らねばならぬのであつたから何でも彼でも皆作つた。例へば藍の如きも日本の內地で作つたのであつたが、一度び國を開き有無相通の市場が世界的に擴大されて見ると、遙に優れた藍が印度から輸入するから、何も日本で其地味に不適當な藍を强いて作る必要が無くなり何時か印度藍が內地產の藍を驅逐したが、更にそれのみならず、科學の長足の進歩は人造藍、其他多くの人造染料を供給して此天然の藍の用途をも著るしく壓迫するに至つた。又棉の如きも國內諸所に產して至る處に棉畑を見たのであつたが是も、印度棉、亞米利加棉の其價の低廉にして品質の優良なるに及ばず、何時しか壓倒され了つて今では何處に往つても內地に棉畑を見ぬ樣になつた。其代りに日本では桑を仕立てゝ養蠶をし、生絲や絹織物にして米國其他歐洲へ迄も輸出する。棉もそれから多くの棉織物を製出して逆に支那から南洋印度等に載出するが、養蠶地方なら蛹が取れるし、海岸ならば貝類があるから、それで宜しいんである。又一層經濟的なのは信州邊に古くから行はれる養魚法である。即ち田に水を入れる時に鯉を放養するので。秋水を落す必要の迫る迄の間に可なりに生長する。田の水を落した後には。それを家の周圍にある養魚池に移すのである。我

◇外電一束◇

◆支那動亂

北京電報に依れば廿八日の戰闘には張作霖側敗北し多數の負傷者北京に後送された又廿九日未明から五月一日にかけ戰闘は北京を去る十二哩天津を去る四十哩に行はれ戰線は天津ブロウ線鐵道に沿ひ展開さる、香港電報は廣東情報として孫氏の軍隊は北方軍艦隊を捕獲したと報す

一日北京に戒嚴令施行され巡洋艦二隻乍罘を出動して山海關方面攻擊作業を始めた（北京電報）

華府支那公使館着公電は曰く張作霖及び吳佩孚兩將軍は北京及び天津を中立地帶とすることに一致したと（華府電報）

京奉鐵道により上海着の一米國商の談によれば反軍中に日本人が支那軍服を着し日本語を話しつゝありし事を列車中で目擊したと（上海電報）

◆佛前大統領逝去

佛國前大統領ポールデシャネル氏は四月廿八日午後逝去した（巴里電報）

◆日本內閣改造か

『エキスチエンヂテレグラフ』は日本內閣總辭職を報じ一部改造に依り彌縫せらるべく期待さる（倫敦電報）

◆五月一日と倫敦

五月一日の勢働日にはハイドパークヴイクトリアパークに各種勞働團體失業者團等の大示威運動が催されたその中の一演說に日本のシベリア撤兵を論じ日本政府への決議文を議定した日本大使館では此の示威團の代表者との會見を約した（倫敦電報）

◆海軍將卒減員

ホノル、電報東京時事新報特信として報ずる所に依れば華府軍縮條款に依り日本海軍は一萬二千の將校を減じ海兵の現役年限を二年に短縮し總員五萬二千に限られたと

◆瑞典王の損害要求

過日瑞典皇帝自動車でアルプス遊覽の際銀行家ヴイツリイアノ氏の自動車と衝突侍從が重傷を負つたので皇帝は同銀行家に對し賠償を要求した（羅馬電報）

◆日本驅逐艦出動

支那動亂の爲在留民保護の目的を以て驅逐艦三隻旅順出港天津方面に急航した（東京電報）

◇經濟欄◇

●伯國貿易上

輸出の狀勢（中）

所が昨年に於ては米國及び歐洲の輸入額は南米諸國のそれに比し數等上位に出でゝゐる、即ち歐洲へは八三〇、四〇〇コントス、北中米へは六三二、六九五コントス、南米諸國へは二一二、五六四コントスの輸入額であつた、然し米大陸合計を歐洲への分と對比する時は歐洲は第一位を失ふ。實に一九二一年に於て歐洲への輸出は八三〇、四〇〇コントスなるに對し米大陸諸國へのそれは八四五、二五九コントスであつた。又昨年のアフリカへの輸出は前年に比し著しく增大した何故ならば一九二一年度には三八、五五七コントスであつた。そして亞細亞へは減少して五〇六コントスとなり、濠洲に對しては消滅してしまつた。今米國に對する最近年間の輸出額を戰前と對比すれば

年次	伯貨額	英貨額
一九二一	六二七、九一四	二一、六六四、六〇七
一九二〇	七二五、一八九	四四、九八七、一八七
一九一九	九〇一、八一四	五四、〇七九、九四七
一九一八	三九三、九九六	二一、二八七、〇一五
一九一三	三一六、五五二	二一、一〇三、四八三

相に見へる最近の對佛輸出狀況は

年次	伯貨額	英貨額
一九二一	一七〇、八一二	五、七九七、六〇四
一九二〇	二〇〇、四五八	四六三、七九三
一九一九	一〇二、四一六	五、五六四、〇六五
一九一八	一一九、八八七	二、九九二、四四二

對獨逸輸出消長は

年次	伯貨額	英貨額
一九二一	一六五、〇四九	五、五六九、五三一
一九二〇	一一二、四〇一	六、一八四、二一〇
一九一九	一〇、五二三	七〇一、四九七
一九一八		
一九一三	一三七、三九〇	九、一五九、三一三

對英輸出貿易は戰前に於ては伯國輸出貿易の第三位を占めてゐたそして此狀勢は一九二〇年迄續いた然し一九二一年には第五位に落ちてしまつた之は坑夫罷業が大に因してゐるそして米佛獨蘭以下になつた對英輸出狀勢は

年次	伯貨額	英貨額
一九二一	一一八、三四六	四、一三七、八九四
一九二〇	二〇八、八二四	九、三一一、六〇二
一九一九	一七五、八五〇	一〇、五二二、六四一
一九一八	一三五、一〇〇	七、三六二、二三九
一九一三	一三五、四三〇	九、〇三五、三〇七

額は

年次	數量噸	伯貨額	英貨額千磅
一九二一	一六、一三六	三、八二四	一、一六六
一九二〇	二三、〇〇七	二、四六六	二、一〇六
一九一九	一六、〇〇八	一、九一〇	一、九一〇

製袋材料として世界的大需要のある本品は英領印度ベンガラ地方に產するに過ぎない聖市でも栽培を始めるやうになつたがまだ問題にはならない、英國—否世界的にジユツタ工業の中心地はダンデイで伯國では聖州である、一九二〇年度輸入量一四、一二七噸中サントスを經て聖市へ入つたのは一三九三五噸でリオへ入つたのは一九一噸に過ぎなかつた

●リベロンプレート市

寄附者氏名並金額（第一回）

サンタカーザ

一金百圓　海外興業株式會社出張所
一金二十圓　上村萬作
同　坂口力藏
同　野原加那
同　中島勘五郎
同　平谷富右衛門
同　石井警太
一金十五圓　別府斗市
一金十圓　柏木良二
同　北島ハル子
同　椿ニコ
一金五圓　原實
同　米重春子
一金二圓　早尾季
一金三百圓　反田貴己
一金四十圓　五

●ポンタール驛アバレンーダ
一金二十圓　楠原增太郎
一金十圓　林田十平

●ドミンゴヴイレーラ驛ブイゲーラ
一金十圓　宮本多末吉
同　三次武雄
同　中村代三記
同　新納勝藏
同　坂口源助
同　草塲彌助
同　窪山鹿吉
同　田中熊吉
同　高田義太郎
同　木村清治
同　松本三郎兵衛
同　翠川喜藏
同　白野音松
同　中村藤太藏
同　岡惣平
同　吉弘勇
一金五圓　クリタバラー
同　中惣次郎
一金一圓　同　サントス
同　伊波盛
同　伊良
同　玉城眞
同　玉城善永
一金二圓　同　ウニオン耕地
同　玉那覇龜助
一金一圓　同　カベラバ
同　新川善祖
一金二圓　ヴイラマリヤ耕地
同　親富川助松
一金一圓　ベラヴイスタ耕地
一金十圓　新武太
（以上十件野原加那君取扱）
一金十圓　ガタバラー久世兼吉

●リベロンプレート市
サンタカーザ

寄附者氏名並金額（第一回）

一金五圓　同　多末吉
（以上二件別府斗市君取扱）
一金十圓　フランスコジユミツト驛パジツーラル　日野隆太郎
同　岩崎伊太一郎
一金五圓　同　藤紋久吉
同　江鶴志
同　中村福太郎
同　馬田敏行
同　鹿毛政次郎
一金三圓　中野宇次郎
同　堀川太三郎

●フランシスコマンミアノ驛サンセバスチオン
一金二十圓　横田松太郎
一金十圓　河上半兵衛
一金五圓　坂本萬次衛
同　江藤友吉
一金三圓　岡田文輔
一金二圓　澤清

●ヴイラボンフイン驛ダセーラ
一金十圓　尾方一太郎
一金六圓　出利葉俊太郎
一金五圓　櫻井八郎兵衛
同　小野耕之丞
一金三圓　佐藤作次郎
同　大倉辰利
同　長澤良

（以上二十二件坂西力藏君取扱）
一金五圓　村上倉吉
（以上二件上村萬作君取扱）
一金五圓　クラビーニコス驛ジヤンダーラ　大熊休吾

●リベロンプレート
一金二圓　佐藤トメ

●イラセマ驛ボンジヤルヤン
一金五圓　村上倉吉

●ソロカバナ線イパウスター
一金五圓　加藤滿

●マヌエルアマーロ驛ボアヴイスタ
一金三圓　古藤初太郎

●カニンデー驛サンタクルス
一金二圓　米元榮吉
合計金九百十四レース圓也
大正十一年五月一日
在リベロンプレート總領事館分館にて
早尾季鷹

●物價表（昨日）

棉花上（エンラーマ）一アローバ		
同（エンカロー）一アローバ		
米（特等）六〇キロ	一	三二、〇〇〇
同（最上等）六〇キロ	一	二八、〇〇〇
同（上等）六〇キロ	一	二四、〇〇〇
同（並等）六〇キロ		
モミ（特等）六〇キロ		
同（最上等）六〇キロ		
同（上等）六〇キロ		
砂糖（特等）六〇キロ		
同（マスカボ）六〇キロ		
豚脂（聖州產）六〇キロ	一	一七、五〇〇
同（南リオ州產）六〇キロ	一	四〇、〇〇〇
マンヂオカ粉（亞國產）四四キロ	一	一八、五〇〇
メリケン粉（內國產）四四キロ	一	一二、〇〇〇
同（ムラチニオ、セツカ）上	一	一〇、〇〇〇
豆（中）六〇キロ	一	一五、〇〇〇
同（ムラチニオ、アルアア）上	一	一四、〇〇〇
豆（中）六〇キロ	一	三四、五〇〇
同（ブランコ）六〇キロ		
豆（中）六〇キロ		
同（ブランコ）六〇キロ		
ミリヨ（アマレリオ）六〇キロ	一	一三、三〇〇
同（アマレロ）六〇キロ	一	一三、〇〇〇
同（アマレロン）六〇キロ	一	一二、八〇〇

倫敦　巴里紐育　日本　（リプラ）金（フランコ）（ドル）（圓）

●爲替相場（昨日）

一レース	三九、二〇〇
一レース	七、六七〇
一レース	七、二九〇
一レース	三、四九〇

●ジユツタ輸入

最近兩三年間伯國のジユツタ輸入

國別	一九二一年數量	一九二一年數量	一九二一年數量
入港船數	一六八隻	二四八隻	一七一隻
出港船數	一六三隻	二五二隻	一六一隻
伯	一	一	一
亞丁	四	九	四
佛	二〇	二五	一八
西	九	八	八
蘭	一四	一五	一四
英	五三	六五	一六
伊	三〇	四〇	二九
日	七	五	七
米	五一	二二	五五
諸	一七	一三	一八
瑞典	四	五	四
其他	六	二三	九
計	三九〇	四六七	四〇二

●伯國輸出貿易の覇

サントス港成績（下）

△本年第一期三ケ月成績

同期間船舶出入動靜はかなり活躍を示し殊に出港船舶數に著しかつた即ち昨年の出港數四〇二隻に對し本年は四七九隻であつた、船舶動靜中首位を占むるは次表に明なる如く伯國船で丁、佛、蘭、伊、瑞典諸國船の動靜は增大を示し減退したのは西、英、日、米諸の諸國船であつた、今昨兩年同期の出入港船舶數を所屬國籍別に示せば

寺本行商組合
吳服
新古衣類
化粧品
小賣仲買
當組合は都と田舍との連絡機關を氣取りまして最も速にして賴り安く販賣します、又誠實なお友人の一人としても御通信に應じます、當組合員は毎月一回地方を巡回します、當月十七日には寺田剛、齋藤延の兩名が初めてお目に掛りますと觸れ込にノロエステ方面を巡回します、皆樣宜敷御願ひします。
事務所　J. SAITO　Rua Helvetia No. 2 S. Paulo
組合長　寺本
出張員　齋藤延剛
理事　佐藤吉男

開業廣告
拜啓各位益々御健勝の段奉大賀候陳者私等共同にて左記の場所に旅館を開業致し候間當市へ御出の節は多少共御引立に預り度奉懇願候尙ほ表間には珈琲店を營み居り候間此れ又重ねて御贔屓に預り度伏して願上候　敬具
五月五日
ペンソンエスペランサ
サントス　松田太郎　大城嘉助
T. MATSUDA
Pensão Esperança
Rua Senador Feijo
No. 377-379 SANTOS

民刑商訴訟手續其他一切の法律事項懇切取扱
辯護士　マルチン、フランシスコ、ソブリイニヨ、ジルベルト、デアンドラーダ、イシルバ
事務所　R. D. Bento, 12 B
Tandar Sala 10

◆土地◆
アラサアア墓地に隣る土地三十キロメートル平方の賃貸或は共同耕作者を求む、馬齡蕃作養鷄等に好適
照會は　Caixa Postal, 1384

カーザ東京
家具商　杉本芳之助
Rua B. de Itapetinga, 20 S. Paulo

◇廣告◇

左記諸君の現住所御一報得度候

山崎庄馬　野中重助　五島菊市
河村末太郎　島田數惠　竹田森次郎
中牟田榮太郎　福光仲藏　大河內增太郎
佐々木一　佐藤星霜　田の上熊五郎
吹谷重次郎　須藤點治　澁谷常次郎
明和定吉　吉田由次郎　久保勇市
西留助遺族　荒木丈吉遺族
大塚丑太郎遺族

◆先頃計算書と同封御送附致候委任狀並に差入證は此後諸君の利益のために必要なものに候間當社よりの文面御熟讀の上此際御送附置被下度候

◆當社貸付者にして最近他轉し未だ屆出なき諸君はその耕地殖民地名、線名等を詳記し御一報被下度候

大正十一年四月

海外興業株式會社伯國支店
Caixa Postal, 1082　S. Paulo

宗教論壇

●基督教に就いて

小林美登利

基督教に就いて所信を述べるに當つて先づ世間の人々の基督教に對する甚だしい僻見誤解嫌惡等に就いて一言せざるを得ない次第であります。第一『俺は大體基督教は虫が好かんヤツと云ふ名から嫌だ』と云ふ人が隨分多い樣に見受けます。嫌ひだとか虫が好かんとか云ふ事は必ずしも基督教にばかり限つた事はなく愛好憎惡の感は人情の常であります。北米に於ける排日の原因を探つて見ても矢張り『日本人と云ふ者は虫が好かん』とか『好しからざる國民だ』とか云ふ感情上の嫌惡排斥が可なり惡い仕事をやつて居るのであります が然しかゝる感情一片の憎惡排斥の誤つて居る事は最早や問題とするに足らない程明かであります。故に若し嫌ひなら何故に嫌ひであるか其理由を明白ならしむる必要があるので然らずして徒らに嫌惡排斥するが如きは決して廿世紀に於ける文明人士の取るべき態度ではありません。

次に基督教は外國の教であるから惡いなどゝ云つた時代もありますが之は餘りに幼稚な考で、佛教にせよ儒教にせよ皆外國から入つて來た事が解つて居たらこんな愚劣な考を起す道理がないのであります。今は內國とか外國とか云ふべき時代ではなく殊に國境を越える事の出來る普般的な眞理を有つて居ればこそ我等は之を信じ得るのであつて一國內に限られた偏屈な信仰などは最早や醒めた人々には何の價値もありません。

次に基督教は國家に禍ひなものでに我國體とは到底相容れないものであると云つて、排斥する者がありますが然し之も時代の進歩と共に次第に變つて參り、既にかの西園寺內閣當時內務次官であつた床次氏が佛教基督教神教の所謂三教會同を催して日に頽廢せんとする國民の精神教育の爲一致協力せられんことを嘆願してから後は今迄繼子扱ひにされて居つた基督教が國民一般の誤解を解いた筈であります。所が驚くまい事か當時執筆して物したのがかの有名(?)な京都在學中の私が夏休に故郷の會津に歸つて參りましたら、村の村長がかの大逆事件を起した高德秋水はヤソ信者であつたと云つて切りに吹聽して居つたのを見て殆んど開いた口が閉がらない位でした。少しく該事件の顚末を知つて居る者は熟知せられる事と思ひますが彼れ高德秋水なる者は基督教を以て不具戴天の敵となし其目的を全ふせんが爲には先づ基督教を撲滅せざるべからずとなし彼れが斬頭臺の露と消えた其前夜迄『基督抹殺論』であります。書中說く所愚論奇說百出して學術上の價値は零でありますが只國家國體の問題では常に誤解され勝な基督教に取つては寧ろ此書の現はれた事を喜ぶものであります。更にかの大逆事件を惹起した一味徒黨の中には三名までも佛教僧侶が入つて居つたに叶らず一人の基督教信徒すら見出す事が出來なかつたのは抑も何を物語つて居るでせうか。

●蜘蛛手に張りまわされたゼノア會議の通信機關

◇臨時電信電話局の設置◇

初日から露國過激派代表と、佛國代表との大物言で熱を帶び、更に露獨協約と云ふ大番狂はせ、飛付五人扱でもする勢で、荒れ廻る露國代表の相撲振に、流石ロイドジョウヂ大關も手が出せず、本國の新聞からは表人外交どまで罵られるに、愈々

▲世界の視線が集められた、こゝ本場所はゼノアの通信機關に就て、その設備の模樣を紹介する事にしやう

先づ二箇所に臨時電信電話局が設置された、一は會議場本部に設けられも一つは新聞記者團本部にある。そして此の兩局に活動する從業員は、全團局員の中から最も敏腕な、沈着な、そして外國語に堪能な者を

▲一粒選りに撰んだのだ。そして通信を迅速完全ならしめん爲に、努力された專門的施設は、ゼノアと歐州及び全世界の各都市とを職絡して、膨大な通信網を張つたと云つてもいゝ。電信用としては、ゼノア、アレキサンドリア間二回線、同トリエステ間一回線同アピツラ間銅線一條が架設された之に依つてゼノア電信局は次のやうに外國との通信が出來る

▲巴里とはバウドアウト式で二線、各線に四ケのセクトールがある、巴里ブラッセルとは兩局に二ケ宛のセクトールを持つた同式一、巴里倫敦とも同樣、其他ベルン、ウインナ、ズウリッヒ、伯林マルセーユ等と各一乃至二線シーメンス式ヒューズ式バウドアウト式等各二ケ乃至四ケのセクトールを以て聯絡してゐる

▲其他內地各都市との完全してゐる

▲スペッチアには無線電信發信局が建設され、佛伊獨羅勃何チエコスロバキア等諸國へ直接發信し得、獨逸のナエン及び英國のカーナボン局を中繼として露國及び米國と通信がづ出來る、此の發信局は會場本部と直接聯絡あり、又其處には無電受信局があり、世界各地から同會議宛の電報を受信してゐる。

●米國新海底線

東京では米國資本家が現在のハワイグワム線より千餘浬短距離の新海底線布設すべしと云ふ噂さで持ち切つてゐると東京電報が報ず

●パラナ州より一筆啓上（下）

サンタオリンピア　紫陽生

帆影君足下喜んで呉れ給へ、此の父と仰げる公使は、當夜ラウル氏の宅に落付かれ、遠來の被勞の氣色もなく近くのコロニアまで散歩せられて歸られた頃は、もう宅の內外や綠門川氏の奮鬪の地、パラナ日本人の始源地、パラナ日本人發展の根據地である、恐らくカカツ村を除いて日本人の發展を論すること能はざる如く迎すべく心ばかりの觀迎會を催し得ることを嬉しく思ひました。開會するや總起立で天皇陛下の萬歲を公使の音頭で三唱し、併て伯國及びラウル氏の萬歲を三唱し、次いで長谷川氏の音頭で公使堀口閣下の萬歲を三唱したが、公使は更に長谷川氏コロニアの萬歲も至當なりとて此處にまた萬歲ヴイバの聲は靜かなパラナの夜の帷を振はし、四方に轟き渡りました。そして一同は乾盃して後、晩餐に移りました。

食後少憩、長谷川氏の公使觀迎の辭に次いで、公使は我々の爲めに最も親切な次の樣な訓話がありました、即ち公使今回の御巡視に於て南部二州の外人移民狀態を視察せられし時何時も未だ知らざる日本人の優秀さを稱讚してゐたとのことで、その理由は知識が進歩してゐること、道德を重んずること、勤勉なること、衛生に注意すること等でありました。然し吾人がこの訓話の要點を聞いた丈でも、赤面せざるを得ないではありませんか。公使は詳細に亙つて說かれ、倭少な大和民族が若しこの優秀な要素を缺くならば、土人にも恥ぬ我々である。日本人を良く知らざる南部二州の官民は、公使に對し一種の御世辭を以て禮したのも吾人が外國に於ては斯くあるだらうと思つてのことゝ思ふから、若し吾人にして不幸にも此の事實に反するならばそこには倍加の反動を以て排日の風潮が押し寄せて來ないとも限らないではありませんか。

帆影君足下、公使は翌十三日はカカツ村御視察と決定されてゐたが船都合で同日サンタオリンピア耕地を隈なく視察せられまして十四日カカツ植民地を視察せらるゝことになりました。御承知の通りカカツ村は長谷川氏の奮鬪の地、パラナ日本人の始源地、パラナ日本人發展の根據地である、恐らくカカツ村を除いて日本人の發展を論すること能はざる如くカカツ村を見ずして日本人の殖民的力量を評價するの無謀なることは今更云ふまでもありません。

サンタ、オリンピア耕地の同胞打揃ひ公使の御伴をしてカカツ村に向ひました、此處では亦クワチンガ及びナカル耕地から同胞が參集したので此の日本人の會合こそ公使に取て大なる御滿足の樣子でありました。で、此の日本人の會合は公使も殊の外御滿足の樣子でありました。(三月二十日)

●日本字の聖州地圖

●電氣、測量技師にして製圖に特種の技能を有する小林弘一郎氏は在留同胞間に未だ日本字の地圖なきを不便とし今春夫人の病氣看護の傍ら編製せる聖州地圖を最も安價に同好の士に分たんとして近頃青寫眞應用の實用地圖を發賣するの運びに至つたが固より一色版體裁美なりとは云ひ難きも紙質丈夫にして變色の憂ひなきは此の地圖の特色であるから御入用の方は別項の廣告御一讀の上代金を添へ本社へ御申込あらば御取次ぎ致します

手紙の宛名及び送金に就て

一、本社々用に關する御手紙は必ず『伯刺西爾時報社』(Noticias do Brazil)と封筒表に御明記の上御發信を願ひます。

註—社用の手紙を社長若くは係員個人の名を以て發送せらるゝ時は名宛人不在の場合解封し能はざるが爲め事務の遲滯が免かれぬからであります。

一、購讀料、廣告料及び其他の代金にして本社宛に御送附の場合は『現金封入便』又は『郵便爲替』にて御送金を願ひます。

又右の場合は封筒の裏面に必ず差出人の姓名、宿所を橫文にて記入して頂きたい。

註—折角送金したりとしても其手續を誤つたり封筒の裏に宿所姓名の書き入れを忘れたりすると途中紛失したり又到着しても何人から送金して來たものか判りませんから御送金の場合は必ず右の二條件を具備するが必要であります。

伯刺西爾時報社

FUJISAKI & COMP.

日本品各種

東京本店　赤坂區溜池町卅三
本店　リオ、デ、ジヤネイロ
支店　ペルナンブーコ

藤崎商會

サン、パウロ支店
Rua S. Bento No. 68-A
Tel. Cent. 2788—Caixa, 344
S. PAULO

聖波羅土地材木殖民會社

◆當社は水質良好、氣候溫和にして珈琲其の他の全作物に適する肥沃なる絕好殖民地ビリグイ。エイトール、レグルーの土地を廉價且つ拂込方法を容易にして賣却す
◆當社は既に千八百家族の各國人を有し、其中四百家族の日本人植民し且道路四通八達し兒童教育機關及日本醫院の設備等あり
◆尙詳細は左記宛御照會ありたし

ビリグイ代理人　宮崎八郎
Est. Birigüy　L. NOROESTE

日本貿易株式會社

聖市出張所
Rua Quintino Bocayuva, 80
Caixa, 1714 Tel. Cent. 3449
São Paulo

リオ支店
Rua Candelaria, 90
Caixa Postal, 1246
Rio de Janeiro

獨逸機械直輸入商　ブロンベルグ商會

農具一切

ポンプ類各種

押上喞筒、吸上喞筒、排水用喞筒、「ジヤツビイ」喞筒、水力自働喞筒、葡萄酒及び油類用喞筒、畜尿用喞筒等各種。風力モートル蒸氣喞筒、遠心力喞筒電動機付。其の他水管、鐵管、ピストン、弇、鐵棒、等喞筒附屬品一式

BROMBERG & CIA.
Rua Quitanda No. 10
Caixa Postal, 756,　S. PAULO

●伯國農業發展策（三）

帝國總領事館農業技師 江越信胤

今又雨期と乾燥期に夫々如何位の雨が降るか、又此雨量と地盤との關係は如何なるものであるか、余の調査せる材料を以てすれば大略次の通りである。

地所名	地盤高	雨期雨量	降雨日數	乾燥期雨量	降雨日數
	米突	米突	日	米突	日
サンパウロ	三二	二五	八	二六	五
ポッカツ	七七	一〇五	八	二三	二四
カンピナス	六五	二〇五	九	二三	二六
ピラシカバ	五七	一二五	八	二四	二六
レンソエス	五五	八五	八	二〇	二六
アバレー	四九	八五	八	一九	二三
イピツンガ	五七	八〇	九	一五	二六
リベロン	五八	二〇	一〇	二二	二三
イグアツペ	—	二〇〇	一〇	二二	二五
サントス	二	一四六	八	六二	五三

右表を通覽すれば次の樣な事實を認むるものである。聖州内地に於ける雨量の多き所は總じて地盤の高き所即ち大體に於てパウリスタ沿線及びモヂアナ沿線が比較的地盤高く雨量も年雨量として千四百ミリメートル位降つて居る、リオテイテイ河に沿えるノロエステ線及びソロカバナ線地帶の如き地盤の高低に應じ雨量が減少している事實を認むるのである人若し伯國の農業が雨を得て經營せらるゝものとせば、地盤の高低と云ふ事は伯國の農業者に取り土地選定上殊更に重要視す可きものなる事之により明かならん、況んや珈琲栽培の如き地盤の高低は直接霜害と大なる關係あるに於ておや、左れば將來獨立農にして土地を買收し農業を試みんとするの士は、第一に土地選定上雨量と地盤の關係を研究し、地盤の測定の如きは簡單なる山嶽晴雨計に依り豫め之を測定し土地の適否を判斷するを良策とする。

尙參考の爲めにノロエステ線方面即ち新珈琲園地帶とリベロン方面即ち舊珈琲園地帶との土地の高低の差を比較し見れば、如何に珈琲園經營及其他伯國重要作物栽培が適當なる土地の高低に依り開發發展の難易ある事が著るしいかを認むることが出來る。

▲ノロエステ線

地名	高さ
バウル	五百メートル
プレシデンテ	五百四十
ノゲーラ	五百十
アバイ	四百四十
プレシデンテアルベス	五百四十
トレドピザ	五百四十
ラウロミレル	五百二十九
シンジナプラガ	五百
ゲワランタン	四百四十
ベンナ	四百十
アルアケルケリンス	三百八十
エントルレゲル	四百十
カピチーバ	三百八十
ベンナボリス	三百八十
ピリゲ井	三百六十
アラサツーバ	三百八十
イタプラ	三百十
トレスラゴア	三百十
ジュピア	二百五十
ラゴアリカ	六百八十
カンポグランデ	五百二十八

▲モヂアナ線方面

フランカ	九百九十六
バタダイス	八百八十三
リガバルド	五百二十
リベロンプレト	五百四十九
クラビンニヨス	七百八十六
セラアズル	六百二十四
カサブランカ	七百二十

前表の示すが如くノロエステ線中バウル方面から漸次鐵道線を下るに從ひ地盤下降し、ジュピア方面が最低となり又漸次地盤が上昇し、ラゴアリカ方面が最高となり、以下漸次下降してボルト、エスペランサ方面にて及んで居る、左れば地味から云へば第三紀層で此線の中で沿岸の地は甚だ沃土であるが利用の道が未だ充分でない、又各沿線に於て高低を論せず恣に珈琲を植たる箇所は成果を待つ能はずして、何時とはなしに霜害に犯され廢園の止むなきに至ると云ふ次第、之に反しモヂアナ線の中フラレカ方面は地盤が餘りに高き爲め作物の成育良好ならず、而して是等を世人は地味の善惡に歸すれども、地味から云つたなれば沿線中大差はない、主として高低の差如何により斯かる現象を呈するのであると云ふ事を結論するのである、蓋し近世科學が顯著なる進歩發達をなせるに連れ之を農業に應用されたるもの又頗る多く、人工を以て植物を栽培し以て天然氣候の制裁を脱し得らるゝと雖も、徒らに多額の費用を要し生産は資本に伴はず、思はざる不利益に畢る事なきにしもあらず、科學の進歩と共に益々農業氣候の研究と實地應用の必要たるや論を俟たず、誰か云ふ山嶽は覆すべく江海は埋むべしと、山嶽は覆すべく江海は埋むべしも遂に此氣候を如何にせんとする。

●夜學校設立旨意書

小林美登利

此度感ずる所あつて同志の友と共に夜學校を起す事になりました。夜學校と申しましても決して堂々たる組織のものではなくて我々が之から當地に發展する上に於て最も必要な語學からして眞面目に研究して見やうと云ふ旨意に外なりません。語學に就ては今多くの日本人諸君が色々苦辛慘憺して居られる處でありますが伯人に就けば何うしても一週二三時間學んで月に十五ミルや二十ミルは取られる上に、初歩の者には直接白人に學んでも極めて困難である事は多くの人々が既に經驗して居られる處であります。

それで我が夜學校では之等の經費と不便とを省く爲に先づ月謝を六ミルとし、一週火、木、土の三晩各一時間宛『ブラジル』語の研究をなし、其中二晩は當市大正小學校教師宮崎氏が葡語の文法から指導する事とし、他の一晩は特に日本人に同情あるブラジル人に來て貰つて正確な發音、讀方、實際會話及び當國の風俗、習慣禮儀作法等の教示を乞ふ事に致します。之は伯國語の方でありますが我々は苦しみに負けてはならぬ。常に元氣を鼓舞して苦痛と戰ひ常に血と涙とをもつて生きがいを求めて進まねばならぬ。醉生夢死は氣樂だが男子の恥辱だ。

○

今は泣く時ぢやない愚痴を云ふ時でもない空想すべき時でもない。忍ぶべき時だ勤むる時だ。希望の光りを逐ふて進み忠實に一日を過さなくてはならない。一生は一日の總計である。一日を申分なく過すことは一生をうまく過すことである。

○

追懷と恐痴とをやめてしつかり大地を踏みしめて正しく強く向上しなくてはならない。溜り水はいつしかくさる一歩なりとも向上したいものだ。

○

自分を偉らくするものは自分である此の言葉を忘れないで自修せなくてはならない。そして進歩し向上し生きがひのある人間になりたいものだ。

○

我々が野に流す汗の苦闘と大臣が政務をとるそれとは同じ貴さを持つてゐるものと確信してゐる。勞働をいやしめないで貴い天職を續けてゐると思つて忠實にやらなくてはならぬ。

○

天職は人によりて相異なる。けれど各々の定められた道をあらゆる苦痛と戰つて一日一日を飽くまでも強く正しく心掛けつゝ進まねばならぬ。

○

我々はなすべき事を離れて忠義もなく德義もなく人間としての價値もない。現在充實した生活をなすべく努力せなくては矢張り醉生夢死の仲間入りの外はない。

○

我々の心の駒は狂ひ勝ちだ。良心の手綱をしつかり握りしめて自責の鞭を忘れてはならない。

○

許されたる行爲は心を安らかにする許されざる行爲は心を不安にする。望ましきは自己に恥ぢざる行爲をすることだ

○

世界の何人が罵つても正義は畢竟正義だ。どんなに人が曲解しても誤解しても結局最後の勝利は正義の人にある。

○

世界の聖賢は皆友であり古今の哲人は皆師である、進むべき道はほんとうに廣いではないか。

○

信仰問題は人生最第一の問題である人格も事業も信仰の上に築かれて初めて光輝がある。實に人生最初の問題でまた最終の問題である。眞面目に考慮せなくてはならない。

●雜感

澁川義治

人生到る處に苦痛のない處はない。我々は苦しみに負けてはならぬ。常

御希望の方は至急ブラジル時報社内小林まで御申込を願ひます。我が夜學校は營利を目的とするのでありませんから一人でも志望者があれば早速始めます。

五月九日午後七時半

コンデ大正小學校内

五、月謝

六ミル（各月最初の週に納付の事）

四、科目

葡語（夜七時半八時半）

英語（同八時半九時半）

三、時日

火、木、土

二、場所

コンデ大正小學校内

一、開始期

五月九日午後七時半

御希望の方は至急ブラジル時報社内小林まで御申込を願ひます。我が夜學校は營利を目的とするのでありませんから一人でも志望者があれば早速始めます。

記臆願ひます。

拔きにしましたが只左の事丈けを御

事が出來ます。煩雜な規則等は一切

ミルの月謝で葡語と英語と兩方學ぶ

我等の此の目的に賛成して共に眞面目に研究しやうとする方は男女に拘らず誰でも歡迎致します。一ヶ月六

結ぶ時が來る事と信じます。場所は差當り適當な所がないのでコンデ坂下の大正小學校を一時借りる事に致しました。集まる月謝の收入高から幾分でも小學校に寄附する事が出來れば幸ひと思つて居ります。

得る限り密接に保ちたい希望であります。若しかゝるものが必要であるとせば我等の此の小さい企てもいつしか莖が伸び葉も茂つて花咲き實の

拜啓 弊工場開業以來日尙淺きにも不拘同胞諸彦の御引立を蒙り日に增し繁榮に趨き候段御厚意奉深謝候弊工場製作品（H印及物）の特徴は其の切れ味の優良なる事他に比類なきは既に御求めなされ候方々の御許判にても明かに候なされ候方々の御許判今般更に工場の擴張を圖り農具は勿論其の他一切の金物に對し精々吟味すると共に可能得る丈の廉價を以て貴需に應ずべく候得ば何卒舊倍の御愛顧を給はり度く奉懇願候

H印鐵工場

サントス港 平田初太郎

Caixa Postal, P. P. SANTOS

プロゼーシタダ三四街二三番

エスタツン、ジユキアー際

◆迅速、叮嚀、勉强

◆御引立を乞ふ

Garage Normal

Tel. Cidade, 56

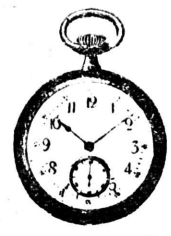
Praça da Republica No. 43

貸自動車業

原村喜之松 林岩助

岩本秀雄 東美代平

青木梅雄 中村末熊



修繕は

齊藤時計修繕所

ルア、コンデ、デ、サルゼーダス八三番

コンデ街六十九番

○日本品各種

○織物雜貨類

○農產物仲買

○新古袋販賣

中矢商店

K. NAKAYA

Rua C. de Sarzedas, 69 S. Paulo

伯刺西爾時報取次所

旅館 成功館

サントス港 古謝將義

Largo 7 de Setembro, 15

Tel. Central, 2008, Santos

月刊雜誌

ポツケット講談雜誌	三月號	二、八〇〇	少年倶樂部 三月號 三、一〇〇
講談倶樂部	四月號	二、八〇〇	母之友 三月號 三、六〇〇
文藝倶樂部	四月號	六、四〇〇	雄辯 一月號 八、八〇〇
新青年	二月增	四、四〇〇	中學世界 二月號 三、六〇〇
中央公論	三月號	六、八〇〇	實業之世界 二月號 二、八〇〇
幼年畫報	四月號	二、四〇〇	面白倶樂部 一月號 七、〇〇〇
農業世界	三月號	二、八〇〇	太陽 二月號 五、三〇〇
少年世界	二月號	二、八〇〇	實業之日本 三月號 二、四〇〇
			小學校 一月號 二、四〇〇

（初等敎育研究雜誌）

右代價は送料共、若し賣切の際は次號着次第御送附可申上候又注文は前金にて御願申上候

瀨木商店

Rua C. de Sarzedas, 49 Caixa, 1771

Tel. Central, 3836 S. Paulo

社告

左記の處に支部若しくは取次所が置てありますから購讀申込、料金拂込、及其他に關しては最寄左記の所へ便宜御手數を願ひます

（順序不同）

コンキスタ	福川薩然
プロミツソン	鈴木季造
ピリゲイ	宮崎八郎
アリンス	森部一衛
リベロン	坂元靖
ベンナ	古庄常喜
サントス	古謝將義
セ、セーザル	岡島仁郎
プレジヨン	長尾喜樹
イグアペ	管山鷲造

伯刺西爾時報社

三十一文字

スワルド、ベレスフォルド

堀口大學君の歌集佛譯「タンカス」は靜水へ投げた石に起つた波紋が擴がつて行くやうに伯國の文藝界の興味の中心になつたかたちがある、先月廿二日のリオの「オーコンバテ」紙にはオスワルド氏が評論してゐるので、例に依り諸君に紹介する(帆)

東洋と西洋。異れる民族や文化、正反對な考へ方……然しかうした中にもまだ、思想だとか感情だとか、洋の東西、民族の如何にかゝわらない、獨立した一の共通の根底がある之は民俗心意のあらゆる表示を含めての、民俗學研究に於て愈々明である。全く要は表白の形式の異なるに基因する思想の異なる形式となることである。とまあ近世の言語學者は云ふところだ。かくの如き相違が藝術に影響し、暫々東西藝術家の表示の中に、相衝突するやうな對照のあるのは自然である。

例へば日本の詩歌や繪畫は、暫々吾人に重大な疑義を抱かしめる。そして其等が藝術としての端緒にあるものか、將又精粹の極に近いものであるか、吾人はそれを斷定するのに躊躇するのである。

然らば日本の詩歌は何であるか？之に對してジョアン、リベイロ氏は忠實な觀念と正確な意想とで、次のやうなことを云つてゐる『蜘蛛の巣のやうな、架空な纖弱なものである殆ど言葉のないやうなその文學に、果して最大な微妙つて云つたやうなものが存するかどうか知らない、そこには簡潔と云ふことが極限に達してゐる。誰でも唇の振動に依つて、其の言葉を判斷するやうに、舌まわりの惡い言葉で、少し云つてそしてそれは皆云つてしまつてゐる』云々

巴里で出版せられた堀口大學君の『タンカス』も此の一般原則から免がれない。短歌は日本詩歌壇に、有力なものゝ一である、俳偕や樣々な歌のやうに、五句で出來てゐて、吾等のソネトが必ず十四行に書かれるやうでなく、三行より他に書かれない兎も角卷頭にポール、フォートの序文は、吾人が外國文學を取扱ふ上に免かれ難き、疑はしき詩學上見界を一掃するに充分である。

最初の一讀では、之等短歌二百十二首を支配する動機を發見し得られない。その千態萬樣は、崇高な風景である、二本の筆で、豐富な色彩、強い調子の色で描かれた水彩畫である。

初秋の高く澄みたる碧空にポプラは金の噴上を投ぐ

エスパニア、アンダルシアのたをやめは牡丹に似たり夕月夜かな

林より黃金の木の葉散り來ると湖にゐて鶴のながむる

犬ありて渚に吠きぬ大月の海にうかぶをかなしげに見て

ひらめく電光のやうに、えぐるやうな皮肉がある。

女みな裸體に近く身を裝ふ世紀末とはなりしけらしな

纖細な云ひ廻しに三五人假裝舞踏のかへるさをドミノ着て行くあけがたの月

悲痛な可笑味に歌人を長男に持つ禍を父の嘆けば

秋風の吹く悲愁、寂しさの思ひ出に思ふこと晝と夜とにかく許りかはると一人おどろくもわれ

夢うつゝうつら〳〵とうつくしき幻を見て年經ぬと云ふ

鋭き觀念に

かなしみの三昧境にある時のわが幸福は父も知らざり

洗練された皮肉で狂ほしやその禁斷の實を食みし日より罪をは美しと見る

其の他樣々に到底一々分類は出來ない。段々に詩人の創意の最頂點が表はれてゆく。

かうして『タンカス』は悲しみの涙の結晶であることが確められる。此の悲しみの中には『世界中のあらゆる悲しみ』がこの東洋の心靈の裡に見出される。然し又その中に、悲しみに裏切つた悅びや、幸福や、慰安がある。

よろこびは常に涙と共にありさびしさにのみ幸福はありかなしみに醉ひて涙を流す時わが幸福ははてなきものを

あはれにもかなしみを愛づ愛でつつ可く世に何物も持たぬ心はあやしきはかなしき歌をうたふをば

われの心のよろこびとする徐々として吾人は堀口君の心靈に觸れた。日本語としたら平凡な此の歌集の標題が、國を隔てた吾人には强く響く。この『タンカス』は一篇の叙情詩のローマンスであり、その感激は西洋の衆盲に解れしむる。殊に

その懷郷の悲哀は……秋にまた故郷とほき旅に逢ふ歌さびしくもなりまさりつゝ

旅五十日五十日の旅に何を見し涙に濡れし天地を見し

遂に客觀的にも主觀的にも、世事に密接された、中心動機が表はれる、この動機こそ偉大な、普遍の、女神である。

懷郷、覺醒、とゞめあへぬ時の流れと共に、失せゆく若さの悲哀は、『笑ひ過ぎた人』の深刻な憂鬱や、不安や、煩悶やに比ぶべくもない、この感情は然し、靜寂であり、現實に於ても變る事なく、一定した穩さと優美さ、それに時には純な敗頽氣分が加味されて表現される。

美しき妖の女に抱かるゝ猫の如くも君に抱かる

懊惱す君がこゝろは古の娼婦の如く甘くかなしく

その秘密告げなば生ころされんわがサッフォの月をおそるゝ

終篇に於て不意に奇異な破格に邂逅する。それは潰れた戀である、突としてそこに肉感の衝動がある。この歌人の眼は亞細亞の寺院に見慣れたのだ、その『粗野な、便々たる腹の、猥らな佛像』(帆曰く評者の佛に對する智識を疑はねばならぬ)に馴らされたのだ。泰西の寺院に於ける聖女たちの美しい像の幻影が、この歌人を惱ませる

狂ほしや御寺に入ればまた戀し白衣の聖母黑衣の聖母

聖壇の大燭臺のたゞ中に裸形の美女の幻を見る

狂ほしや御寺の香の匂ひさへあやしきものゝ香に匂ひける

たゞそればかりではない、尙ほ一の立派な懷疑說が述べられてゐる。大寺に入りてはじめておのれ知る僞ばかり美しきなし

これらが吾人がこの歌——輕妙纖細なそして又暗示を持つた、時には近代文藝の奇異の滋味を有つた、落ち散る枯葉に眩惑する、限り知れぬ太洋の神秘にひき入れらるゝ——詩を誦して得た感想である。

語葡に複譯する事を避けて、原作佛譯のまゝ掲げた、そしてそれは又この歌集に未知の讀者自身で、私の感想に對して、その當れるや否やの判斷のよすがにともしたのである。

私は同情に迷はされたか？或は未知の亞細亞の、事物にこだわつて私の心靈は眩惑されたか？然し私はそうとは思はない。

小說 奴隸の娘（十六）

ベルナルド・ギマラエス

『とは云はせぬイサウラ、全く俺はまだお前程の美しい女を見た事がない。まあよく考へて御覽イサウラ、お前を自由の身にさせる、と云ふ點で、誰も俺程に都合のいゝ位地にある者はないんだぜ、俺が立てばレオンシオにだつて、お前を解放するのにウンと云はして見せる、何故つて確かにお前の解放に文句をつけるのは、敵は本能寺にあるんだ、とにらんだ俺の眼は黑いんだぜ、一番鼻を明かしてやらにやあならない、それに俺にはそんな卑劣な企を、默つて見のがせないんだからな。ところで自由の身になつた上にだ、お前の欲しいものは御意のまゝだ、絹布で御座れ、寶玉で御座れ、馬車で御座れ將又召使の奴隸で御座れ……その上に當の俺は、他にどんな別嬪で金持の女が現はれたつて、見向もする事ぢやない。お前一人の美しさは、どんな者が何人把になつて來たつてかいなはないんだからな、全くお前一つの命……』

『まあ飛んでもない。……(イサウラは鳥渡嘲弄するやうな表情をして)そんな結構づくめ、妾、氣が違つて仕舞ひ相で御座います。けれども旦那樣、妾は何も欲しくは御座いませぬ。どうぞその懸賞はそのまゝお納を願ひます、そして他にお氣に召した方にね……妾は只今自分の運命に滿足して居るので御座います。』

『まあさイサウラ、そんなに强情張るもんぢやない、鳥渡お聽き……。』

云ひながらヘンリケが、イサウラの頸を抱えやう、とする手を遁れたイサウラは、怒氣を漸く押えて

『あゝもしヘンリケ樣、どうぞもう御冗談はお許しを……。』

『しッ、そんな大きな聲を出しちやいけない、イサウラ、後生だ、どうしても不可なけりや、せめてたつた一つ接吻を……。』

『もし貴方がそんな事をおやめにならなければ、妾もつと大きな聲を出します。聽きたくもない戲れ言に、妾時間はつぶせません……。』

『フ、ン、偉い威光だ。(ヘンリケは手ごたへのないのに癇癪まぎれで)どうだその橫柄さは……まるで大家の御台樣だ、まあさう怒るもんぢやない、えお姫樣……。』

『もうお默り下さい……レオンシオ樣ばかりでなく、また貴方が……。』

『まあ靜まり給へ、僕がもんぶん殿つちまつたよ。』

たまりかねてイサウラの、激した言葉は涙が交る。

『何、僕が君に似てゐるつて!?失敬な、誰だねそんな事を云つた奴は、ぶん殿つてやるんだが……。』

『君が僕によく似てゐるつて云つた者がある……』

◆似た者

一週一笑

◉第十六回正解者　ノロエステ永尾愼造氏、モジアナ三宅辰三氏、回答者四十八名

▲第十七回詰手解答　は次號に

●第十九回詰將棋

角兵衛

詰手方持駒　金、金、角、桂

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	香	桂							
二			王						
三		歩		歩		銀			
四			歩						
五	歩								
六		歩							
七									
八									
九									

AFFONSO RIOS
Praça da Republica, 62 Sob.
Caixa, 454 == Tel. 2293
SANTOS

サントス港に於て日本其他外國から來た荷物の通關手續に最も永い經驗を有し最も廉い手數料で勉强して居るのは弊店であります

サントス港
アフォンソ、リオス商店

葡語教授

日本人諸君にして葡語を學ばんと欲する人には短期間にて上達する樣良敎授法と親切を以て敎へます授業時間午後六時半より十時まで希望者は左記へ問合せられたし授業料

前金

イタジバ、サンチアゴ
Rua Direita, 8-A, 2º andar
Tel. Central, 5765

アラ、クワラ線カタンヅーバ市郵函七十七番（柿内旅館跡）

大正旅館
井に農產物仲買商
氏原彦馬

尙ほ十五歲以上の女中一名至急入用希望者は郵便又は來談ありたし高給を拂ひます

◆日本人に對する法律事件の相談

辯護士　ジョアキン、デルフイノ、リベーロ、ゲ、ルース
事務所　總領事館同建物四階十四號室
Dr. J. Delfino Ribeiro da Luz
L. da Sé, 3, 3º andar Sala, 14 S. Paulo

測量の依賴に應ず
小林弘一郎
Caixa Postal, 9 Catanduva

尋人

鹿兒島縣姶良郡粟野村北方百六十三番戶　郡山袈裟熊
明治廿二年十二月十七日生
熊本縣宇土郡三角町宮崎區　大久保久太郎
福岡縣京都郡行橋町大字大橋二五七六ノ一　原田春太郎
明治十三年三月二日生
右者の現住所御承知の方は御手數ながら當館へ御通知を乞ふ
在サンパウロ
帝國總領事館

綺麗で、迅速で、丁寧で有名な
石村洋服洗濯所
電話セントラル參貳參四
Rua dos Lavapés No. 236

◆至急勞働者募集◆

今般カタンヅーバ電氣企業會社にて末記の塲所に水力發電所設置するに付き左の如き勞働者を募集す

一、體格丈夫なるもの又は土工掘割りコンクリト工事に經驗あるもの
二、大工電氣內外線工又は鍛冶工或は機械に經驗あるもの

日給は食事附四ミル以上十ミルレース迄支給す、家族者には食料を貸す、家は臨時會社にて建設して貸す、家族者に對しては發電所附近の善良なる山林地(米棉に最適の塲所)を三ケ年契約のホルマストの請負を責任を以て周旋す、塲所はドラデンセ線イタポリス驛より自動車道十六キロメートルに在り　問合せ希望者、視察者は左記宛の事

イタポリス、リベロン、ドス、ボルコ。カタンヅーバ電氣企業會社
技師
小林弘一郎
Engenheiro Salviano Kobayashi
a/c Dr. João Telles Ribeiro Est. Itapolis L. Dourradense

YAMA-K. SHOKAI
Ship-chandlers
Telephone Central, 1973
Rua Martim Affonso, 41
SANTOS

大阪商船會社
日本郵船會社御用達
各艦船食糧賣込業
並に農產物仲買業、生、干、鹽魚卸販賣
K合資商會
小淵岸本　合同營經
南米サントス市
マルチンアフォンソ街四一番
電話セントラール一九七三番

日本近信

●上奏文を懷中した怪漢
二重橋上に爆發慘死
◇髭ぼうぼうの藤田留四郎◇

▲三月十七日午後一時三分宮城二重橋前に現はれた鳥打帽子を冠り霜降の洋服を着し髭蓬々と生えた年齢三十八歳位の一見勞働者風の男が二重橋の歩哨所へ向つて橋へ差蒐つた擧動が怪しいので通行中の巡査が誰何すると突然『危い』と云ひさま穿いてゐた足駄を脱ぎ裸足になつて駈出した、夫と見て居合せた憲兵が誰何すると又も『危い』と云ひ捨て其場に倒れると

▲直訴々々と叫んだ刹那懷中して居た爆藥が轟然爆發して同人の首と手足は離れ〳〵に又胴體は滅茶々々になつて慘死を遂げた、此椿事に警視廳から岡總監、正力官房主事、馬場刑事部長、小泉捜索課長、中村強力犯係、有松知能犯係、野村鑑識係等數名の刑事を隨へて現場に馳付け日比谷署からも署長以下出動取調べた結果死體中から上奏文を發見し之に依つて滋賀縣生れ藤田留次郎なる者と判明した

▲歩哨にあつた近衛歩兵第二聯隊第二中隊早川一等卒は語る『自分は丁度當番で歩哨の任に當つてゐたが突然怪しい勞働者風の男が二重橋を渡つて來たからその前に駈付け銃劍を擬して訊問した處件の男は『危い、直訴だ〳〵』と二三度叫んだ、ハテと思ふと洋服のポケットから頻に煙が上つてゐるから危險と思ひ數歩退く間に怪漢は正門に近づいて潜戸に入らうとし倒れると共に大爆音が發せられた、驚いて見ると怪漢は無殘な死を遂げてゐた次第である』と

▲藤田留次郎は滋賀縣生れで明治四十年三月大連に渡り西公園町三五に家を構へて土木請負業を始めたが失敗して四十三年には青島に渡つた其大連及滋賀縣警察本部に本人の身許照會の打算をなし其返電を待つてゐるが事件は益々擴大すべく觀測さる

▲藤田留次郎が所持した上奏文に付き床次内相は貴族院に於て高田早苗氏の質問に對し恐懼しつゝ『其上奏文には政府當局は内外の政策に大改革を要するもの多々あるに一向改善に意を注がぬから茲に自殺する、との意味が誤字脱字だらけで書いてあつた』と答へた、尚市村皇宮警察署長の談に依れば右の上奏文は血に染んで字體も良く判らない程になつてゐたと

東京電報、北米通信（三月卅日）

◆撤兵條件の承認
支那政府は山東鉄道守備隊撤兵に關する日本の條件三ヶ條全部承認した

◆大隈侯邸の寄附
大隈侯邸は故侯の遺志に依りて早稲田大學に寄附する旨發表された

◆現内閣居据聲明
政友會は議會後の現内閣居据りを聲明した

◆田中大將の遭難
三月廿八日上海で不逞鮮人二名比律賓からの歸途の田中義一大將を要擊したが大將は無事で犯人等は直に捕縛された

◆東汽の配當六分
東洋汽船會社は昨年末の營業よから今期の配當は六分と決せられた

◆當座貸越利上げ
東京市中の一流の銀行は當座貸越の利子日歩を二錢三厘以上二錢五厘に上げる事とした

●高師の昇格難

昇格問題對策に關し東京高師學生は三月十五日學生大會閉會後實行委員のみ秘密會を別室に於て開き其の結果仄聞する所に依れば實行委員及び有志を除くの外は同校學生全部學校を引き上げる事になし、成否如何を待つ事としたが其翌日も若溪會員は長文の陳情書を携へて貴族院各派議員を訪問運動に盡力したが其の經過報告及び今後の學校側態度を協議すべく、當日午後六時より同校會議室に於て教授若溪會學生三派聯合實行委員會を開く尚生徒側でも地方卒業生に打電し、益風雲急なるを告げ結束を固くする事になつた

●越後海の暴風雨

三月十五日正午長岡市附近は天候激變暴風襲來して長岡市内では住宅一戸倒壞した、其他寺泊、柏崎、村上、新潟、岩船各地沖に出漁中の漁船多數顛覆し死傷者多く大混亂を極めた今迄に判明した死者は柏崎沖六名、寺泊一名、直江津五名である

●平和博に白衣が目立つ
京城の女學生

三月十四日は一天晴れ渡る好天氣で開けてから初めての日曜と來て居るので平和博の繁盛も一方でなかつた正午までに早くも四萬五千の入場と（一千噸）は東京を

▲起點として北海道航路に配船されて居たが昨年十一月中旬陸前石の卷を出帆して横濱へ向け航行中鹿島灘積んで居ないから乘組員は餓死して連中も少くない

▲總じて　第一會場は人氣が宜く第二會場に比し數倍の大入り殊に目立つたのは朝鮮京城の女學校の生徒二百五十名が雪白の朝鮮服を纒ひ先生一團は先づ第二會場の正門から入込み、眞先に朝鮮館を訪れて、貴賓室に給仕として來てゐる五六名の同窓生に會ひ、矢張り京城に居るやうな思ひがすると見え嬉しくして觀談に時を移し、それから順次全會場を參觀したこの外の圖體では

▲靜岡縣　磐田郡の二俣小學生徒三十一名これは第一會場正門から入場する續いて銀座の御木本眞珠店の職工七十名が勢よく乘り込んで來る、十一時頃には靜岡縣川崎町在郷軍人會員の七十名が石井歩兵中尉に引率されてやつて來る、這んなことで昨日入場者は學生軍人が最も多く地方の人も可成りあつた

●原町の大火
△八十餘戸燒失す

三月十六日午後九時半福島縣相馬郡原町本町二丁目小仲屋旅館二階客間から發火し折柄前日來の强風に火は忽ち東方に燃へ擴がり約五十分の間に八十七戸百六十棟を燒失して午後十一時鎭火したが本町二丁目は同町目抜の場所にて主なる商店郵便局等何れも烏有に歸し燒死者二名を出し負傷者多數あり損害は約百萬圓の見込みである原因に就ては警察署にて取調べ中であるが今尚不明であると

●怪猫嬰兒を喰ふ

大阪西區市岡町八一〇仲仕畑方隆の妻しま（一九）は夫や家族の旅行留守中午後六時頃生後廿三日になる二女春枝を寢かしおいて二三軒先の井戸傍にて洗濯二時間程經て歸つて見ると斑色の大猫が春枝の顏に爪を立てゝ鼻先に喰ひつき嬰兒は悲鳴を揚げてゐるので大いに驚き矢庭に座敷に飛上つた途端右の怪猫は逃去つたので嬰兒を早速同町竹林醫師及土井警察醫に診せたが甚だしい出血で絶命した

●並んだ並んだ
世界的の學者が
△東北大學生物學講座に

去る四月の新學期から東北大學の理學部に生物學講座といふ吾國最初の新しい講座が設けられ而も教授には世界一流所の學者がづらりと居並ぶといふので學界の大評判となり其の教授の

▲顏觸は　世界隨一の植物生理學者である維也納大學のモーリッシュ博士やロックヘラー研究所の畑井博士を始め伊藤、柳澤、田原等の世界的の博士がづらりと居並ぶので目下他大學の羨望の的となつてゐる、殊に來る十月來朝するモーリッシュ博士は植物生理學にかけては世界的の權威といはるゝ人で歐米各國の一流の植物生理學者で同博士の門を潜らない者は一人もないといふ、博士の心は墺國から日本の東北大學に移る譯だと教授連は無精に喜んでゐる

▲來朝に　よりて世界植物學界の中

●行方不明の海員六十名
路頭に迷ふ彼等の遺族
◇其船の名は第五萬世丸と云ふ◇

東京市小石川區小日向臺町二丁目中村商店中村萬之助方所有第五萬世丸（一千噸）は東京を

▲起點として北海道航路に配船されて居たが昨年十一月中旬陸前石の卷を出帆して横濱へ向け航行中鹿島灘積んで居ないから乘組員は餓死して仕舞つたものと觀測されて居る處で乘組員の爲に扶養されて居た家族は安否を氣遣つて其消息を待つて居たが何等の便りがなく彼等も亦將に路頭に迷はんとして居る

したらしく假令機關部に無事であつたとしても同船は近海航路船で乘組員六十餘名が二ヶ月以上を保ち得る糧食又は飲料水石炭等を

▲故障が出來て太洋を漂流し船體が

伯語講習者に座右
缺くべからざる

◆葡和辭典　實價一冊拾貳ミル　外に送料壹ミル

◆伯語講習錄　實價一冊拾ミル　外に送料壹ミル

右兩書共賣れ行き速かにして殘本僅少となりたれば御入用の方は品切れにならざる内可成早く御購求を願ひます。

伯剌西爾時報社營業部
NOTICIAS DO BRAZIL
CAIXA POSTAL, H
S. PAULO

實價にて同胞諸君に提供

▲諸君が農業地を選定、州内及隣州旅行、自己の事業地を鄕里へ報道等の上に必要なる地圖を、諸君の需要に應じ總日本文字を以て作つて見ました。

▲此の地圖は携帶用の便と、値段の廉と、長期の使用とに重きを措き、中形の青寫眞應用地圖とし紙質を撰べると共に内容に最新の材料を採り收めました。

▲特に此の地圖には日本人の集合地、乃至殖民地の所在及州政府調査に係る其土地〳〵に適當なる耕作産物を示し、農業及視察者の便に供しました。

電氣測量技師　小林弘一郎編
總日本假名字青寫眞應用
最新聖州地圖
縱一尺七寸、横二尺五寸
實價金四ミルレース（送料共）

▲素より青色寫眞版ですから、體裁に於て美麗とは云ひ得ませんが、實用に於ては彩色版に優るも劣る所がありません、何卒一葉御購求を願ひます。

◆便宜の爲め「伯剌西爾時報社」内に取扱所を置きましたから御入用の方は代金を添へ左へ御申込あらば直ちに御送附申上ます。

NOTICIAS DO BRAZIL
Caixa Postal, H S. PAULO

●革命の聲に脅かされて

密雲に覆はれたリオの天

◇泰山鳴動して鼠も出でず

ともすれば聯邦政府に對して、改革が起り相に噂されてゐた所へ、去る廿八日にはエルメス元帥が、偕行社の名で議會議長宛に三月一日の次期大統領選擧結果發表を督促に及んだので、氣の早い連中は

▲そりやこそ宣戰だとばかり、市内の空氣がどことなく緊張して來たのに、神經質な當局の方でも頭痛にし出した所へ、衛戍司令官カルチイロ、ダフオントウラ大將は、廿八日夜革命は先づリオ州兵團に勃發せんとすと云ふ情報を受取つた、先づその革命行動豫定と云ふのは、第一にカンタレエラ社の渡航を休航せしめ、リオ、ニテイロ間の聯絡を斷ち、レオポルヂイナ鐵道を運轉せしめず

▲リオ州への軍隊輸送を妨げ、ペトロポリス、リオ間の通信機關を切斷して廿九日リオへ下山しやうとする大統領を孤立に陷れやうと云ふのであつた、此の情報は直ちに陸相バンヂイア氏に申達され、陸相から他の閣僚に報告された、そして各官憲は對應準備につとめ、カルチイロ、ミエナパレット、ボナシオダコスタ、リベイロダコスタ諸將軍は

▲衛戍隊に詰め切つてゐた、其間に陸相警視總監陸軍省副官州兵司令官等は額を集めて密議を凝らす、衛戍各隊州兵隊等出動準備成り、カテツテの大統領官舍は多數の聯邦及び州兵で護られた、海軍大臣は各幕僚と共に海軍工廠内に夜を徹し、警視總監は各警察署長陸軍高級武官等と官房に徹宵した。そして廿九日の

▲大統領下山當日は全市は嚴重に警戒線が張られ、一も狼藉沙汰のないやうにと手配がなつた、第一第二艦隊の各艦艇は總員上陸を止め、汽罐に火を焚いて出動戰鬪用意をなし、海軍彈藥庫は一層嚴しく警戒され、ベリヂリオ、サア、フラビオ、アヂノール各中尉は嫌疑を受け取調の結果反亂事件に關係あるものとされた

▲海軍部内には憲兵が活躍を始め陸海軍將校で捕縛された者の數は多い廿九日午前三時には砲兵第一小隊がニテロイへ向つた、夜中各艦艇要塞の名で議會議長宛に三月一日の次期が探照燈で八重十文字に照らし合ふ海軍部内でも調査の結果は、大統領下山を期して蜂起する一大陰謀が發見された、かうした物凄い氣分の漲ぎつたうちに、廿九日の朝が來た

▲かうした不安を裏切つて、聯邦大統領エピタシオペッソア氏は、豫定の通り特別列車でペトロポリス下山プライアフォルモサ驛に着けば、閣僚陸海高級武官外交團其他文武百官に迎へられ、陸海軍各部隊各種學生團公共團體其他一般市民十重廿重に堵列の中を、一小隊の騎兵及び龍騎兵一小隊を先驅とし、士官學校の儀仗隊に次いで大統領及び隨員搭乘馬車夫人及び隨員乘車、更に高官連の自動車を隨へて、威風堂々カテツテの官舍に向つた

▲かうして三日の第十一立法議會の第二會期開會に先づ政務一般に亘る大部な教書を送つたが、流石水も漏らさぬ警戒振りに、鼠一疋這ひ出る隙もなかつたのだ

●東京地震公電

東京地方の强震に就ては前號所報の通りなるが右につき當市總領事館への公電を再報すれば四月廿六日午前十時十二分より廿五分間（人體に感じたるは五十秒）東京始め關東各地に强震あり三十年來の被害を生じたり市内各所土塀崩れ東京市内水道鐵管六ヶ所破裂平和博の陳列品墜落し千葉縣北條線トンチル崩れ汽車一時不通死者數名重傷者數名を出せりと

●臨時議會閉會

本年度歳出豫算が聯邦大統領に拒否されたゝめに新豫算審議の爲召集された臨時議會は三日閉會となり四日には三月一日の次期大統領選擧結果審査の爲委員會が選擧組織された

●南部三州巡廻の

藤田總領事

總領事藤田敏郎氏の南部諸州巡廻の計畫は愈々今度實行されることゝなり明六日齋藤通譯生を從へサントスに下り同港から海路リオグランデ、スールに赴きポルトアレグレを振り出しにペロタスを見て再びポルトアレグレに出で夫よりサンジエロチイモを經てサンタカタリナ州ブルメナウに至りサンフランシスコ及びジョインビレを視察して六月初めパラナ州に出でパラナグアよりアントニーナ、クリチイバを巡廻して六月五日頃歸館の豫定であるさうだが總領事今回視察の目的は伊太利人、獨逸人等の植民的發展振を見て聖州及隣州に於ける日本人の其れと比較研究して見ると云ふにあるさうである

●百年祭に日本

練習艦隊派遣公報

外務大臣アゼベド、アルケス氏は來る九月の百年祭に日本政府は兵科機關主計各少尉候補生搭載の練習艦隊各七千噸級の盤手淺間出雲の三艦を參列せしめ之等若い候補生等は此の榮ある式典を永久の思出に士官に任命されるのだと云ふ公報を伯國政府が受取つたとエスタード紙は報じた

●伯國海軍飛行

今迄伯國には完全に獨立した海軍飛行隊がないと云ふので海軍大臣は同隊新設組織をすることになり米伊兩國の飛行機工場と水上飛行機建造契約もなり同時に練習將校を派遣して飛行實習研究せしむると云ふ

●リベロン市サンタカーザの

寄附金募集好成績

百年祭を期して九月七日から聖市に家畜共進會が開催される事となつた出品其他に就いての詳細の照合は畜産局に於てなすべしと

●家畜共進會

本日到來せる案内狀に依ればノロエステ沿線在住同胞諸君には愈々ノロエステ日本人會を組織し來る十三日プロミソン驛に於て同會最初の總會を開催するに決定したと

●ノロエステ日本人會

最初の總會

邦人のサンタカーザに對する謝恩の誠意が表はれて喜ばし

●米國學者來伯

シカゴ東北大學の歷史地理學教授アイサック、コックス及びウイリアムハアス兩氏は去る一日南米に向け學校研究所視察の目的で出發した兩氏はリマ、ブエノスアイレス、モンテビデオを經てリオに來り百年祭記念の歷史科學會議に參列する筈である

●伯國ロイド海陸

輸送聯絡計畫

日曜日聖市着の伯國ロイド社長マセド氏は月曜日サントス及び聖市支店長と會見をなし同社とドック會社、サンパウロ、パウリスタ、モジアナソロカバナ各鐵道と共同動作輸送聯絡方法等を討究した

●統治二週年

去る二日はワシントンルイス氏が聖州統領の職に就いた二週年に相當したのでミナス州統領アルツールベルナルド氏から祝電を贈られた

●新郵便切手發賣

近日中に造幣局製造にかゝる二百レースの新切手が發賣される筈で新切手は洋紅色で印刷され大きさは縦廿一ミリ横十八ミリメートルである

●補給金拂渡

かねて海外興業會社から申請中の百五十家族植民契約履行に關しての補給金三十コントスは愈々財務部から拂渡される事になつた

●マラニオン秩序回復

前號所報の州兵の反起により轉覆されたマラニヨン政府は其の後同地方の秩序回復され統治權は再び正規政府側に還つた旨臨時同州副統領ラウル、マツシヤアド氏から去る廿九日司法大臣宛電報を以て報告した

●珈琲輸出制限說

伊太利では伯國が珈琲輸出制限をしやうとしてゐると云ふ噂さで同國珈琲商間に恐慌を起し政府に向つて實否調査方頻々申請しつゝあると云ふ

●聖市イツウ間車道

一日最近完成された聖市イツウ間車道開通式が盛大に擧行された

◆嶺氏養女を貰受く　當地總領事館通譯生嶺昌氏夫婦には近頃健康もメツキリ進み何一つ不自由なしと言ひたい中にも子供の無きは寂しさを感ずと託ち居られたが近頃齋藤武夫氏の媒介で齋藤幸氏の息女綠（八ヶ月）を養女に貰ひ受けたので家庭は急に賑かさが增したとは御芽出度い

●運動界●

▲日本側善戰して敗く　潯み渡る秋の空にボール打つバットの音に勇み立つ運動シーズンに入つた去る三日伯國發見記念日に既報の通りミカドラッパ混合チーム對米人團の野球試合が米人團新運動場で擧行された見事に敵手を刺したり際どく生還する毎に敵と味方に關はらず米國美人團が黃色い聲での應援は艶つぽかつた此の日は晴の舞臺だけに日本側緊張の氣滿ちて善戰七回戰頃までは日本側七對米人側四と云ふ勝目で進みどうやら勝は我物と思へた油斷に米人側奮起八回戰には弱味のある遊撃や外野を盛んに惱まされてムザ〳〵と九點をせしめられ遂に十四對九で無殘な敗をとつたが刀折れ矢盡きた形の眞方は立派なもので米人團も日本側の發達したのに舌を卷いてゐた來る十三日には第二回決勝戰があると云ふ尙嶺昌氏はミカド倶樂部へボール二打を寄附した

夫　西村菊太儀豫て病氣の處醫藥効無く四月二十五日午前六時死亡致候に付此段辱知諸君に謹告仕候

大正十一年四月廿七日

クルゼイロ耕地

妻　西村

長男　西村ナツ

長女　西村清ミ

親戚　吉田鶴吉

友　本田市次清

人　岡村

岡澤初

永田作

光永太郎嘉藏

●山田、小倉兩氏へ出張中の海外興業會社伯國支部主任山田揚之助氏及會計小倉小次郎氏は昨夜歸聖されたり

●賄方一名入用　本社食事賄方として獨身の男子一名至急入用に付志望の方は本社へ申込あれ、夜學校に通學の便あり、手當は面談の上

獨身者五六名入用に付御希望の方は左記宛に至急御照會又は御來談ありたし、仕事は年中絶ゆる事なき故成るべく好條件にて契約すべし

パウリスタ線コレゴリツコ驛

アニューマス農場

土木請負業　田中恭太郎

カマラダ募集

●ラランジエイラス

精米所完成

米及び雜穀作に好適の土地賃貸

アンナデイアスに『ラ、ンジエイラス』精米所の設備を完成したるに當り當精米所は世界最良の稱あるハンプルグのナガル會社製の機械を据付たることを廣告す、之に依り一日二百袋を最良質に最も有利に精米し得、尙又蒸汽を汽罐に燃料とし、精米所の絶好の地位に所在することに依り、停車場に附屬倉庫を有する事に依り、次の如き利便を提供する事を得

一、米の搬入搬出の運搬賃徵收せず

二、運賃の利子を徵せず

三、精米賃一袋一ミル五百レース

四、精米五百袋以上の顧客には一袋につき二百レースづゝ割引

五、精白濟の日付より起算し六十日精米の倉敷料を徵せず

六、倉庫内の米穀に對し時の利率による利子を附して金員を融通し預入者をして販賣の好機を待つを得せしむ

七、全建物は保險に附してあるを以て預入商品に對する危險の責を負ふ以上の諸利點の外サントスまでモミ米を搬出する運賃を儉約し得

生産率はモミ一袋四十八キロより三十二乃至三十五キロの白米を得内二十九乃至三十キロは一等品殘餘は二等品三等品とす次掲諸氏の實驗により確なり

	モミ	生産精白米 一等品	二等品	三等品
久高	二、九七六キロ	一、九八〇キロ	九七キロ	六〇キロ
比加那	四、九〇〇	三、二二六	二二六	二〇〇
仲村渠	三、八四〇	二、三五五	一八〇	九六
比嘉梅十良	二、九七六	一、八九九	一一九	六〇
幸喜元德	三、二六四	一、九七八	二三〇	六〇〇
同　牛	一、一〇四	七一三		二七

上記諸利益確證の爲米所有主の精米立會を承諾す

ジユキア線アンナデイアス

ラランジエイラス耕地

ラランジエイラス精米所

Engenho Larangeiras

Faz. Larangeiras

Est. Anna Dias

L. Santos-Juquia'

珈琲好適地

取扱所

ノロエステ線アラサツーバに於て珈琲栽培最好適地を大小地區一時拂ひ或は濟し崩し拂にて賣却します希望者は左記へ

アラサツーバ

聖市

ウンベルト、ベルガマシイ

エンプレサ、パウリスタ、デコロニザツソン、リミターダ

Rua da Boa Vista N. 27 S. Paulo

5 de Maio de 1922 No. 238

Noticias do Brazil

大正十一年五月五日　金曜日　第二百卅九號

大石内藏之助

六十七

半井桃水

『義理もなければ人情もない、九郎兵衛の孫、郡右衛門の子、野良犬の餌食にせいと、叫き罵つて居る所を無心の小兒に罪はないと、乳母ともん〳〵引取つて、大事にお育て下されたのを、誰ぢやと思召しまする、その大恩人の大石樣が慾の爲めにお荷物を押へてお渡しなされぬなどゝ、そんな事を仰せられては、お口が竪に裂けませう』

『大石樣は明日いよ〳〵、當地をお引拂ひになられまするが、夫に付いて今朝程態々、私どもをお呼びなされ、足下達に大切な、預けものを致さにやならぬ、大野父子なり使ひなり、荷物受取りに參つた時、荷物の代りに渡して呉れへ、萬一此の儘便りもなく、此子成人致したなら、相當の緣を求めて、嫁に遣るとも婿を取るとも、兎に角親切に世話を賴むと、仰せられて御座ります』

『ヱ、滅相な事、お荷物を預かりましてすら、世間の人に憎まれましていかう難儀を致します、是ばつかりは御容赦と、平にお斷り申しましたが、然らば拙者自筆をもつて、賴み狀を相添へ、迷惑の掛らぬやう致し置くと仰せられて、一札下されました上、若しも親公の便りがなうて、永く育てる時の用意、扶持料として金子百兩、お渡しなさるほどのお方に、何の惡意が御座りませうぞ、赤の他人の私どもさへ、有難涙にくれましたが、親身の父公、祖父樣でありながら、嬉しうは御座りませぬかへ』とかさにかゝつて罵しり立ればは大野父子も勢ひ挫けて、

『イヤ誤つた〳〵、左樣いふ事とは夢にも知らず、大石を恨んだは、我々の心得違ひ』

『然らば娘を受取つて、一先づ宿へ立歸り、明日でも大石殿へ對面の上篤と申開きを致し、荷物は引取る事に致さう』

『それが何より上分別、此處に長居をなさる中、近所の者が聞付けましては、何な事にならうも知れませぬ』と言ひつゝ庄兵衛は妻を呼んで、小兒と乳母を連れて來させた。

＊　＊　＊

丸々と肥太つた小兒は、乳母に抱かれて九郎兵衛と、郡右衛門の間に置かれた。

『是はマア可愛うなつた、僅か二月見ぬ中に、いかう成人し居つたの、オ、好く太つて、ハ、ア祖父樣を見忘れたか、泣くに及ばぬ、それ此處に父樣が御座る』

『暫くの間に、見違る程成長致した、これ時、嘸かし難儀致したであらう』

乳母の時は涙を拭うて、

『皆樣お發程の其跡は、不忠者の兒よ乳母よと、近所の人に取卷かれ怖い悲しい目に遭ひましたが、お情深い大石樣、お助けなされて下さりました後は、勿體ない程のお待遇、御自分樣のお子にも勝して、暇さへあれば抱つかゝへつ、蟲氣はないか風ひかすなと、夫は〳〵行屆いたお慈しみ、ほんに涙の溢れます程有り難い事ばつかり』

『左樣であつたか、相濟まぬ事ぢやのう』と九郎兵衛は孫の頭撫でながら、空涙こぼして見せる。

『親はなくとも兒は育つ、大石殿のお蔭をもつて、蟲氣もなう成長致した、汝は實に幸福者ぢや、サ、父が伴ひ歸る』と郡右衛門抱あげうとすれば、わつと泣く小兒、乳母はだきとつて乳房を含ます。

『では此の儘立歸り、荷物の事は明日でも、大石殿へ對面の上、改めて受取ることに致さう』

『夫が宜しう御座ります、大石樣からお渡し申して、苦しうないとの御沙汰があれば、いつでもお渡し申します』

『大石氏へ對面の上、其儘返却致すまでも、志の扶持料は、一應身共受取り申さう』と九郎兵衛は本音を吐く。庄兵衛は十右衛門と顏見合せつゝ、

『大石氏が孫の爲めに、預け置かれた金子百兩』

二人は呆れて稍しばし明いた口が塞がらぬ。

『大石樣からの扶持料を、持つて行かうと仰しやりますか』

『身共持參の上、篤と大石氏にお禮を申して、返納せねば相ならぬ』

『私どもへお渡しなされた金子、不用になれば、私どもからお返し申すばかりの事』

『そんなお手數には及びませぬ』と九郎兵衛父子が腹の底、見透かした挨拶に、相手は忽ち當が外れた。

父子はもぢ〳〵として、立歸らうともせぬのである。

『大分夜も更けました、外に御用が御座りませぬなら、早くお歸り下さりませう』と庄兵衛は追立かける。

『遲く迄邪魔をしたが、生憎持病の疝氣が詰て、ム、痛い、是は堪らぬ』と脇腹に手を加へて九郎兵衛は悶え苦しむ。

『父上、如何なされました、ヱ、是はマア困つたこと、折惡く藥も持たず、さて〳〵當惑な事ではある、庄兵衛、見らるゝ通り俄のさし込み。甚だ無遠慮な事ながら、今宵一夜御厄介に相成りたい』と兩手を仕へて平賴み。

斯なると人情、庄兵衛も十右衛門も、流石氣の毒に思ふので、

『御病氣とあれば是非に及びませぬ早速醫師を迎へませう、先づ其の間奥の一室で、御休息なされませ』

『ナニ今宵一夜安臥致して居りさへすれば、全快するに相違御座らぬ、今の父子の身の上で、醫師賴むも何の取り遣りをしたいとか、心の交際がしたいとか、時々會ひたいとか、近い處に置きたい、居りたいとか、共同生活がしたいとか、結婚がしたいとか、一生離れたくないとか、二世も三世も契りたいとか云ふ風になります。こゝで誤解を防いで置かねばならぬのは、手紙の取り遣りをしたいとか、交際がしたいとか、乃至一生離れたくないとか云ふ風な欲求は、必らず戀の徵であると、私は云ふのではありません。戀でなくても友情とか親子の情とか云ふものも、かう云ふ欲求になつて現はれることは我々の常に經驗する所であります。たゞ戀の現はれ方には、かう云ふ淺深種々の階段があると云ふ事を云つて置きたいのであります。同じく手紙の取り遣りがしたいと云ふ欲求であつても、それが友情から來て居るのと、戀から來て居るのとは大に異ひます。同じく生涯離れたくないと云ふ欲求でも、友情のそれと戀のそれとは大に異ひます。戀の場合は凡てそれが性爲衝動に基いて居ります異性を我物にしようとする衝動から現はれて居るのが、その特徵であります。

◆所有の不平と嫉妬

次に一人の人Aは他の一人の異性Bを戀する場合、Bの性全體を我物にしなければ滿足しないものゝやうに思はれます。Aはかくして Bの全性を自分のものとし終らせた上に、更に他の異性Cを戀しかけたとすればやはり進んでCの全性を我物としなければ滿足しないものゝやうに思はれます。斯くの如くにして人は進んでも、凡べての他の異性を我物にしたいと云ふ欲望があり、事情さへ許せば、皆それを我物にし得る可能性があるやうに思はれます。これは丁度、經濟上に於て人は誰でも百圓を得れば更に百圓を希ひ、三百圓、四百圓と所有して無限に達したいと云ふ欲望を持つて居るのと同樣であります。

で、假りに一人の男Aが、一人の女Bを性的に所有し、同時に其の女Bが其の男Aを所有して居るとすれば是は男女互ひに一人の全性を所有し合ふて居るのでありますから、兩者共に一應滿足して居る事が出來ます然るに此の場合男Aが更に一段の所有欲を募らしめ、女Cを戀し、それを完全に我物とし終らせたとしますさうすると其の結果、男Aは一人にたゞ女Bと女Cとの二人の性を所有するのに、女Bと女Cとは男A一人の性を二分して、其の一分づゝを所有するに過ぎない事となります。こゝに於てか、女Bと女Cとは、決して滿足する事が出來ないで、必然的に互ひに嫉妬せざるを得なくなります若し男Aが更に進んで女Dをも所有したとすれば、彼は一人にて三人の全性を所有し得て居るのに、女達は一人の男性を三分して、各々その一を得るに過ぎない事となります。一人にて三を有するものと、一人にて三分一しか有しないものと、その所有の比は、九と一との割合にあるのであります。何といふ不公平でありませうぞ。

『御親切忝ない、したが先程の藥の効能、いくらか苦痛も薄らぎ申した是で靜かに眠れたなら、全く痛みも去るで御座らう』

『夜明けまでには納まる習ひ、もう〳〵御心配下さるまい』と郡右衛門も言葉を添へた。

婦人欄

●夫婦間に於ける嫉妬の存在價値（上）

近着の「家庭雜誌」を見ますと、夫婦の間に起る嫉妬の研究として色々專門家の意見を登載してありますが、其の内にも伊藤證信氏の「夫婦間に於ける嫉妬の存在價値」が最も其の要を得たものと思ひますから、之を轉載して姉妹方の御參考に供します。（さよ子）

◆異性を我物にする欲求

夫婦とか嫉妬とか云ふ事を考へようと思へば、先づ戀といふものゝ性質から考へてかゝらなくてはなりません。私は戀とは一人の人が他の異性を我物にしようとする衝動であると思ひます。此の衝動の現はれ方の度合には種々あります。たとへば手紙の取り遣りをしたいとか、心の交際がしたいとか、時々會ひたいとか、近い處に置きたい、居りたいとか、共同生活がしたいとか、結婚がしたいとか、一生離れたくないとか、二世も三世も契りたいとか云ふ風になります。こゝで誤解を防いで置かねばならぬのは、手紙の取り遣りをしたいとか、交際がしたいとか、乃至一生離れたくないとか云ふ風な欲求は、必らず戀の徵であると、私は云ふのではありません。戀でなくても友情とか親子の情とか云ふものも、かう云ふ欲求になつて現はれることは我々の常に經驗する所であります。たゞ戀の現はれ方には、かう云ふ淺深種々の階段があると云ふ事を云つて置きたいのであります。同じく手紙の取り遣りがしたいと云ふ欲求であつても、それが友情から來て居るのと、戀から來て居るのとは大に異ひます。同じく生涯離れたくないと云ふ欲求でも、友情のそれと戀のそれとは大に異ひます。戀の場合は凡

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 380
Rio de Janeiro

キリトリテ、テガミノ、オモテニ、ハラルベシ

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.
AGENTES DAS COMPANHIAS
NIPPON YUSEN KAISHA

OSAKA SHOSEN KAISHA

大阪商船會社着發廣告

●タコマ丸
北米バナマ經由　サントス發五月廿三日
横濱、神戸行き　リオ港發五月廿六日

●パナマ丸
日本ヨリ　リオ港着　五月廿二日
サントス着　五月廿四日

尙詳細は左記へ御問合せ被下度候
Antunes dos Santos & Co.
S. Paulo :— Rua José Bonifacio, 17
Santos :— Rua 15 de Novembre 167
Wilson Sons & Co. Ltd.
Rio de Janeiro :— Av. Rio Branco 37

日本郵船會社着發廣告

●神奈川丸
三月二十一日神戸出帆
五月二十三日サントス着豫定
御用の方は左記へ御照會被下度候
アンツーネス、ドス、サントス會社
Caixa Postal, 237
Rua José Bonifacio 17,
S. Paulo

郷里送金

一、日本金に引直相場は當分伯貨三ミル五百五十レースにつき日本金壹圓
二、日本内地郵便爲替料、書留料共總て當店に於て負擔いたし即ち全く無料にて御郷里の受取人へ送り屆け申候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下たく候

預金

日本貨定期預金利息　六ヶ月以上　年六分
伯貨定期預金利息　六ヶ月以上　年五分
伯貨當座預金（小口）　壹ヶ年以上　年四分五厘

◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候
◆預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に有之候

リオ、デ、ジヤネイロ
横濱正金銀行支店